

●伊奈町地域公共交通会議（R7.11.25開催） 委員からの主な質問事項等

No.	内容	回答
1	県内の他の自治体において同種のことをやり結局定時定路線を使っていた方々が使いづらくなってしまったために、見直しをされたって自治体様がございます。 AIデマンドで全てが解決できるものでは決してなくて、路線バスは路線バスのいいところこの「いなまる」の路線バスもありますが、時間でバスは来るという。AIオンデマンドは予約をしないと来ない。しかもその予約は、必ずしも自分の希望するところに乗れるかどうかわからない。この資料を拝見すると、どうしてもメリットばかり書いていて、デメリットというところが記載がない	町としても、AIデマンドバスで全てが解決するとは思っていない。しかしながら、現在の「いなまる」の課題（1. 運行頻度向上への要望、2. バス停の増に対する要望、3. 往復利用しにくい（一方周りに不満）、南北を跨いだ利用ニーズが高い）を解消する、また2%未満の収支率を改善する最善の運行形態としてAIデマンドバスへの切替とした。 ○コミバス（いなまる）のメリット ・予約不要。決まった時間にバス停で待てば乗れる　・大量輸送に向いている ・運賃が安い（無償もある） ○コミバス（いなまる）のデメリット ・便数が少ない、利用したい時間に利用できない ・目的地までぐるっと一周回る必要がある、時間がかかる　・バス停まで遠い ・大型2種免許に限定される為、乗務員不足問題に直面しやすい　・車両が大きい分、運行経費がかかる ○AIデマンドバスのメリット ・予約すれば乗りたい時に乗れる　・バス停が近い、アクセス性が良い ・目的地へ比較的直線距離で到着可能　・乗務員手配がしやすい、普通2種免許でOK ・車両小型化により、運行エリアの自由度が高い　・利用改善に向けたデータ分析検証が容易 ○AIデマンドバスのデメリット ・電話かアプリの予約が必要。高齢者にとって予約のハードルが高い→操作がしやすく、多様な予約インターフェースを準備、住民説明会での丁寧なフォローを実施 ・大量輸送は不向き→高性能な配車システムによる輸送力担保、民間事業者の定時定路線との組み合わせによるすみわけ ・運賃が高め→利便性向上による納得感の向上
2	AIオンデマンドもハイエースを用意すれば相乗りはできますが、実はその予約が同じ方向に行かない限り、相乗りが成立しなくて、乗合率っていうのも、他の自治体さんみても1.数%、2人はあまりないような状況がありますから、3両の用意をしても、実際は予約が取れないよっていうご意見が非常に多くなるような気がします	地域特性、自治体の面積（市域、町域）によるところが大きいと捉えている。伊奈町の面積は14.79km ² で、視察させていただいた自治体は伊奈町の4倍、6倍の面積。また、オンラインでヒアリングした県外の自治体についても、自治体の面積は様々でした。 実際のところ運行してみないと分からないということは、情報収集させていただいた県内外の自治体も言っていたところですが、予約がとれない等の状況であれば、車両の増台も視野に検討する必要があると考える
3	スーパー（ユニクス、マルエツ）向こう（南）にも何カ所かありますよね。そういうところを絞ってその近くで乗り降りするんじゃないかって、もうそこの前まで行くとすればもっと利用率があがるんじゃないかなと思う	利用の多い場所の前までというご意見は、AIオンデマンドにすることで、乗降場所を増やせることのメリットを活かして、利用率の向上、または新たな利用者の開拓もしていく必要があると考えている
4	コミュバスは、定時で来るから時間がはっきりするっていう反面、逆に、受動的な感覚なんで自分の能動的な行動に結びつけるAIオンデマンドの方が自分の能動的な行動に結びつけられるというメリットがある	仰るとおりで、アンケートからも現在の定時定路線のバス停の位置が遠いと感じる方がいるなかで、AIオンデマンドに切替し、乗降場所が多くなることで、主に高齢者の外出促進に寄与するものと捉えている。また、今後高齢化が一層加速することから、高齢者等の自動車運転免許返納にも資すると考えている ※参考：高齢化率（全人口に対する65歳以上割合） ・伊奈町24.2%、上尾市27.6%、桶川市30.2%、蓮田市32.0%（2025.1.1現在）（埼玉県「統計からみた埼玉県市町村のすがた 2025」より） ・国全体29.4%（2025.9.15現在）（総務省「統計からみた我が国の高齢者」より）

●伊奈町地域公共交通会議（R7.11.25開催） 委員からの主な質問事項等

No.	内容	回答
5	まず最初に思ったのが、さて乗り切れるかなというところを非常に心配。「いなまる」の利用人数も先ほどお話ありました通り年々増加傾向です。多分他の市町村さんのコミュニティバスでここまで増えてる市町村さんって、あまり見たことがありません。利用者が増加傾向にある中で、利用人数を見てみると、1便で30人近い日もあるんですね。集中する時間帯、病院が始まる時間帯、お店が始まる時間帯なのかわからないですけど、運行形態を変えてもその時間帯に目的地に行きたい方がいけるわけではなく、増えることを望んで見直しされるのだと思いますので、そういった意味で、この3台という台数で、結果、乗れないという声の方が大きくなってしまっているのではないかと心配	現行の運行形態（2台）になってから、コロナ禍を経て、利用人数が増加しているのは、町としても非常にありがたいところである。一方で、利用者からの課題、町議会等からの意見（一般質問等）や2%未満の収支率の改善を考えると、運行形態の切替が必要と考えている。 また、乗れなくなるのではないかとという部分では、定時定路線と比較して、より柔軟な運行が可能なAIオンデマンドバスでは、一定程度予約が分散することが想定される。 ご指摘のとおり、乗れないという状態が断続的であれば、運行台数は状況に応じて、増台等の検討もする必要があるものと考えている。
6	路線バス片道が今、200円ということでそれと同等にしますよってお話のようですが、AIデマンドを導入するとタクシー事業者への影響が非常に大きいものと思っております	タクシーの初乗りが500円で、伊奈町を通過等する民間事業者さんの路線バスの運賃が200円です。他自治体でもAIデマンドバスは、やはり300円から600円ぐらいまで幅がある中で一般の方の運賃設定がなされている自治体が多いと理解している。 高齢者等の方の割引をどうするかということもあるが、あくまで今の事務局の考え方としては、例えば、高齢者等の方を半額にしたときの運賃が200円以上に設定されるということは必要と考えている
7	実際問題、お客様のほとんど大半の方は、「いなまる」があることを大変に喜んで私なんかにもいつも感謝の言葉をかけてくれてる。「いなまる」をご利用いただいているお客様の大半は、おそらくデマンドを望んでないお客様が多いんじゃないだろうと思う。デマンドを導入することに関しては、私は全然反対しませんけども、「いなまる」をもう少し改善の余地があるのに、なぜそれを壊してデマンドにってしまうのかなと私は非常に疑問に思っています。デマンドも全然いいんじゃないかなというふうに思うんですけども。まず、「いなまる」をもっと需要を高めるために、いろんなことを協議された方が、私はあの現場を見ていて、多分残念がるお客様の方が、住民の方が、私は多いんじゃない思っております	「いなまる」の改善ということも仰るとおりかと思います。また、現行の運行形態に満足されている方もいらっしゃると思います。そういう中でも、AIデマンドバスで全てが解決するということではないとは思いますが、コミバス、AIデマンドバス それぞれのメリット・デメリットを見たときに、思い切った転換が必要と考えている。 【課題】現行の定時定路線の場合 1. 運行頻度向上への要望 2. バス停の増に対する要望 3. 往復利用しにくい（一方周りに不満）、南北を跨いだ利用ニーズが高い →「いなまる」でこの課題を解消するためには、バス増台による逆回り便の設定が考えられる。運行経費は倍増が想定される。バス停の増に対する要望については、車両サイズの問題や運行時間の問題もあり、大幅な増設は難しいものと考えられる。（再掲） 加えて、現在「いなまる」の収支率が2%未満という状況を改善するためには、利便性の向上とセットで運賃の値上げも必要と考えている